

# お寄せいただいた「声」を紹介します

※ご紹介する「ご意見」、「回答」は、趣旨を損なわない範囲で一部編集しています。

## ひとり暮らしの高齢者の安心・安全対策

ひとり暮らしの高齢者世帯が増えています。私も、ひとり暮らしの高齢者世帯を定期訪問するなどして微力ながらお手伝いさせていただいていますが、昨今のニュースを見ると、様々な形で、高齢者の尊い命が失われており、日常生活に不安を煽っています。市としても高齢者対策を充実させ、安心・安全に生きていけるまちづくりを進めてください。

### 【回答】高齢障害課

本市の平成23年7月現在におけるひとり暮らしの高齢者の数は2,492人で、年々増加の傾向にあります。

市としては、日常生活に不安なひとり暮らしの高齢者のみなさんに、安心・安全な生活を送っていただくために「緊急通報装置貸出サービス」や、昼食をお届けする「給食サービス」、更に「お元気ですかコール」を行い、安否確認をするとともに要望等もうかがっています。また、平成22年3月には、災害時に自力で避難することが困難な方々への支援を目的とした「災害時要援護者支援マニュアル」を作成し、本マニュアルを活用した支援体制をとっているところです。今後も高齢者のみなさんが安心・安全な生活を送ることができる取り組みを進めてまいります。

▶緊急通報装置  
もしものときには、緊急通報システムを使って連絡ができます。



## 市民病院の身体障がい者用駐車場

私は市民病院に入院して手術を受け、退院後はリハビリに通うことになりましたが、身体障がい者用駐車場が玄関から離れた場所にあり、さらに、いつも満車状態で不便な思いをしています。玄関前の身体障がい者用駐車場を増やし、いつでも利用できる状態にしてください。

### 【回答】病院局総務課

これまで、身体障がい者用の駐車場は、全部で4台分を確保していましたが、全て腎・透析センター側に設置されており、患者様にはご不便をおかけしてしました。市民病院の建物は、いずれも建築後30年以上経過した古いもので、敷地の利用が整然としておらず、駐車場の確保も十分にできていない状況でした。そこで、ご意見を参考に検討した結果、玄関口近くの既存の駐車場6台分を身体障がい者等専用に変更し、計10台分を身体障がい者等専用の駐車場とすることとしました。

▼身体障がい者等専用駐車場  
(写真奥が市民病院の玄関口)



▲反対方向から